

【参考】シボ加工の仕上り比較

同じ番手のシボであっても金型の材質によって、その仕上りに差異が発生する場合があります。以下は S50C(一般的な鉄金型想定)と、A7075(弊社アルミ金型想定)とのシボの仕上りを比較したものです。

ブラスト(ホーニング No.10)

仕上に大きな差は見られません。



炭素鋼 S50C



アルミ A7075

梨地(HN 2006)

薬品処理による腐食の仕方の違いで、アルミの方が若干粗くなりますが、パターンの中に隠れて大きな差にはなっていません。



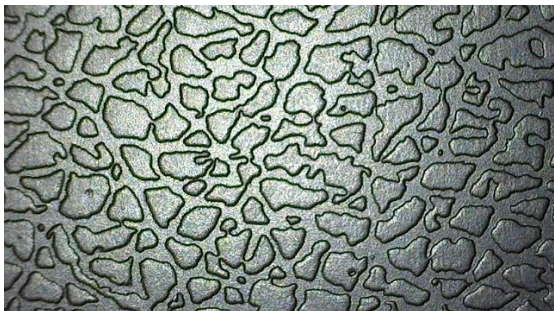
炭素鋼 S50C



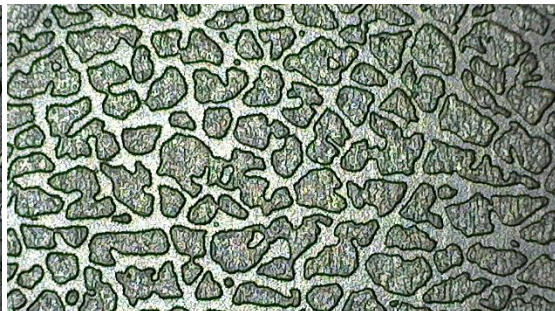
アルミ A7075

皮シボ(HN 4021)

薬品処理による腐食の仕方の違いで、島の中の表面状態に顕著な違いが見られます。



炭素鋼 S50C



アルミ A7075

上記3種類のサンプルプレート(材質:ABS 黒)をご用意しておりますので、ご希望の方は弊社営業担当までお申し付けください。